



障がいを知り、ともに生きる

あいサポート運動

誰もが、多様な障がいの特性、障がいのある人が困っていること、障がいのある人への必要な配慮などを理解して、障がいのある人に対してちょっとした手助けや配慮を実践して、障がいのある人が暮らしやすい地域社会（共生社会）を皆さんと一緒につくっていく運動、それが「あいサポート運動」です。平成21年11月に鳥取県で始まり、三芳町と富士見市が協力し、鳥取県と「あいサポート運動」を推進する協定を結びました。問い合わせ / 福祉課（内線176）

10月16日にコピスみよしで行われたキックオフセレモニー。鳥取県の平井知事も駆けつけ、三芳町長・富士見市長とがっちり握手。



町では、第4次総合振興計画の基本理念の中で、「住民一人ひとりが、お互いの個性を認め合い、誰もが社会参加しやすい共生社会の実現をめざします。」と、掲げています。障がいのある人が障がいのない人と同じように社会参加できることが重要であり、そのためには住民の理解・共感・協力が必要となります。住民の人に多様な障がい特性等を理解していただけるよう、広く啓発していくことが町の重要な役割です。そのため、「あいサポート運動」を推進していくこととなりました。

あいサポーターとは…多様な障がいの特性、障がいのある人が困っていること、障がいのある人への必要な配慮などを理解して、日常生活において障がいのある人が困っているときなどに、ちょっとした手助けをする意欲がある人であれば、誰でもなることができます。（特別な技術の習得は不要です。）ちょっとした手助けとは…点字ブロックの上に自転車をとめない。駐車場の車椅子マークは、障がいの人のためにあけておく。など、自分でできる範囲でのサポートで良いのです。

あいサポーターになるには…「あいサポーター研修」を受けることで、サポーターになることができます。「あいサポーター研修」は1時間30分程の時間で、研修修了者に「あいサポート」バッジを差し上げます。個人の参加希望の人、地域の団体、学校、職域などで研修を希望される場合など詳細は福祉課にお問い合わせください。



町のキラリ★ 町長の事業所訪問

第9回「株式会社出版産業」

町内には、まだまだ知られていない「キラリ」と光る事業所が多く存在します。事業所を町長自ら訪問して、事業所の概要や今後の展望等を聞き、それを住民に紹介する「町のキラリ★町長の事業所訪問」を9月29日(月)に実施しました。

問 観光産業課商工観光担当（内線214・215）



本社を訪問しました。

ここでは、出版社から委託を受け、出版物の管理、保管、ピッキング、検品、梱包、流通から書籍改装までを一括管理。管理倉庫では、各出版物ごとに書籍が整理され、各書店から発注があった際には速やかに配送される仕組みができていました。

書籍改装作業

また、書店等で一定期間経過した書籍を定期的にリフレッシュする作業を改装と呼びます。この書籍改装作業では、書

職場内託児所を新設

従業員が充実した気持ちで働けるように、設備環境や福利厚生を充実し、労働価値の向上に力を入れ、その考えに基づく行動の一つとして、社内に託児所を新設されました。



企業では人材確保が深刻な問題となっており、その解決策の一つであるとのことでしたが、実際にお子さんを持つ人にとっては、すばらしい取り組みであると思います。

歴史ある出版流通業界のなかで、チャレンジ精神を持ち続け、発展していきたいという会社の姿勢や熱意をたくさん感じる事ができました。

これからも出版物流業界、総合物流業界の先駆者として、ますますのご発展をご祈念申し上げます。

株式会社 出版産業



名称 株式会社出版産業 代表取締役社長 渡邊 留雄

所在地 埼玉県入間郡三芳町上富 991-7

Web <http://www.syuppansangyo.co.jp/>

出版産業は社会的責任として、文化性の高い出版業界の基盤を流通面から支えてきました。出版業界の厳しい精度の流通ノウハウを生かし現在は、出版以外の分野の流通ステージについての進出も始めています。さらなるシステムの構築のもと、ワンランク上のクオリティーをめざし、日々、精進しています。

第9回は、9月29日(月)に上富にある株式会社出版産業」を訪問しました。出版産業は、出版業界の基盤を流通面から支え運送業、倉庫業と多岐にわたリ、活躍しています。昭和59年創業。上富に本社を構え、「総坪数1万坪を超える営業倉庫で様々な流通ニーズに応える」企業として、総合物流事業、出版物流事業、運輸事業等においてワンランク上のクオリティーを創造しています。今回、創業30年の節目として、本年1月から稼働を開始した新